



大阪府民児協連
活動強化方策に基づく
実践事例集

はじめに

大阪府民生委員児童委員協議会連合会(以下、大阪府民児協連)では、「民生委員(方面委員)制度創設100周年記念事業」の1つとして、「社会的に孤立している人々への支援にむけて」をテーマに、個別支援事例の収集と事例検討、社会福祉施設やNPO法人へのヒアリングを行い、平成29年度末に「調査研究事業報告書(以下、報告書)」を作成しました。

報告書では、「①地域とのつながりの強化、②SOSを出しやすい地域づくり、③関係機関等との連携強化、④地区委員会等における事例検討、⑤学びの場づくり、⑥全委員による児童委員活動の推進、⑦連携の幅をひろげる」の7項目を重点的な取り組みとして整理し、大阪府民児協連における活動強化方策に位置づけ、大阪府内の市町村民生委員児童委員協議会(市町村民児協)とともにその取り組みを推進してきました。

本実践事例集では、こうした大阪府内の市町村民児協における取り組みを「①事例検討の実施、②居場所づくり(への参加)、③学びの場づくり(研修会等)、④民生委員・児童委員と主任児童委員の連携・協働、⑤関係機関や地区(校区)福祉委員会等との連携強化の取り組み」に分類して紹介しています。

本実践事例集を通じ、誰もが住み慣れた地域で自分らしく暮らし、地域の住民や多様な主体が役割を持って支え合う「地域共生社会」の実現に向けて、先達の思いや活動を引き継ぎ発展させてきた大阪府内における民生委員・児童委員活動がより一層活性化することを願っております。

令和2年3月

大阪府民生委員児童委員協議会連合会

目次

大阪府民児協連 大阪府民生委員(方面委員)制度創設 100周年記念事業「調査研究事業」について	4
「大阪府民児協連 活動強化方策」に基づく 市町村民児協での取り組み概要	6

1 事例検討の実施

箕面市	8
池田市／島本町	9
交野市／コラム①	10

2 居場所づくり(への参加)

河内長野市	11
松原市	12
摂津市／大東市	13
富田林市／太子町	14
泉南市／コラム②	15

3 学びの場づくり(研修会等)

吹田市	16
四條畷市	17
茨木市／能勢町	18
東大阪市／藤井寺市	19
熊取町／コラム③	20

4 民生委員・児童委員と主任児童委員の連携・協働

泉佐野市	21
寝屋川市／河南町	22
高石市／忠岡町	23

5 関係機関や地区(校区)福祉委員会等との連携強化の取り組み

豊能町	24
守口市	25
泉大津市	26
豊中市／高槻市	27
枚方市／門真市	28
八尾市／柏原市	29
羽曳野市／大阪狭山市	30
千早赤阪村／田尻町	31
岸和田市／和泉市	32
貝塚市／阪南市	33
岬町／コラム④	34
調査研究委員会・事例集編集委員会 委員名簿	35



大阪府民児協連 大阪府民生委員(方面委員) 制度創設100周年記念事業「調査研究事業」について

調査研究委員会の設置

時 期	内 容
平成28(2016)年 2月	100周年記念事業実行委員会の設置 (100周年記念事業準備委員会にて)
平成28(2016)年 4月	100周年記念事業の推進体制の決定 ●地域福祉部会、児童福祉部会、主任児童委員連絡会役員会で 調査研究委員会 を組織することを決定 (第1回100周年記念事業実行委員会にて)

調査研究事業の実施

時 期	内 容
平成29(2017)年 4月	調査研究委員会(個別支援事例研究チーム、ヒアリング調査チーム)の設置 ●調査研究事業を実施  <div style="border: 1px dashed pink; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>*ヒアリング調査(5/19,6/18,7/25) *個別支援事例研究 (主任児童委員連絡会 9/20) (個別支援事例研究チーム 10/23)</p> </div>
平成29(2017)年 12月	平成29年度 調査研究委員会 研修会の開催 【講演】「社会的に孤立している人々への支援にむけて」 ～民生委員・児童委員としての関わり方～ 講師:同志社大学大学院社会学研究科 教授 上野谷 加代子氏 【調査研究事業 中間報告】 「個別支援事例からみる民生委員・児童委員の関わり」 報告者:個別支援事例研究チーム リーダー 小川 勝氏 「民生委員・児童委員と地域・他機関との連携」 報告者:ヒアリング調査チーム リーダー 畑 富男氏
平成30(2018)年 3月	「調査研究事業 報告書」の発行 ●冊子の中で「社会的に孤立している人々への支援にむけての取り組み」を提示

時 期	内 容
平成30(2018)年 6月	報告書の「社会的に孤立している人々への支援にむけての取り組み」を 大阪府民児協連 活動強化方策として位置付け 市町村民児協での取り組み実践について呼びかけ
平成30(2018)年 10月	平成30年度 調査研究委員会 研修会の開催 【講演】「民生委員・児童委員が果たしてきた役割とこれからの活動」 講師：大阪府立大学人間社会システム研究科(当時)教授 小野 達也氏 【実践報告】 ・「地区委員会でケース検討を実施」 報告者：守口市民児協 小林 澄子氏 ・「五期会での事例検討の実施」 報告書：寝屋川市民児協 河瀬 洋子氏
令和元(2019)年 6月	令和元年度 地域福祉部会・児童福祉部会(調査研究委員会) 研修会の開催 【講演】「地域のゆるやかなつながりづくりと関係機関の連携」 ～助けあいのできる地域づくりにむけて～ 講師：大阪人間科学大学 人間科学部 社会福祉学科 准教授 石川 久仁子氏 【実践報告】 ・「民間団体が連携して運営する未就学児と親の居場所」 報告者：茨木市民児協 田中 和美氏 ・「地区福祉委員と協働で運営するカフェ」 報告者：豊能町民児協 神田 のり子氏 ※調査研究委員会は平成30年度末をもって解散し、それぞれの部会に 戻ったが、研修会は合同で開催した。
令和元(2019)年 10月	第1回 事例集編集委員会の開催 ●事例集の構成等方針の検討
令和元(2019)年 11月	第2回 事例集編集委員会の開催 ●事例集の構成等の決定
一斉改選	
令和2(2020)年 3月	本実践事例集の発行

「大阪府民児協連 活動強化方策」に基づく市町村民児協での取り組み概要

【大阪府民児協連 活動強化方策】 調査研究事業報告書

「社会的に孤立している人々への支援にむけての取り組み」



- ① あいさつや声かけ、訪問活動を通じて地域住民とのつながりを強化しよう！
- ② 助けあいのできる、SOSを出しやすい地域づくりを進めよう！
- ③ 関係機関や地区(校区)福祉委員会等との連携を強化し、地域の力を高めよう！
- ④ 地区委員会等で事例検討を実践し、活動を見直す機会をもとう！
- ⑤ 学びの場をつくろう！
- ⑥ 全委員による児童委員活動を推進しよう！
- ⑦ 連携の幅を広げよう！

実践



具体化

市町村民児協での取り組み実践



①事例検討の実施



③学びの場づくり(研修会等)



④民生委員・児童委員と
主任児童委員の連携・協働



②居場所づくり(への参加)



⑤関係機関や地区(校区)福祉委員会等との
連携強化の取り組み

●実践期間(目安) 平成30(2018)年7月頃～令和元(2019)年 6月頃

●市町村での取り組み状況

①事例検討の実施	池田市、箕面市、交野市、島本町
②居場所づくり(への参加)	富田林市、河内長野市、松原市、大東市、摂津市、泉南市、太子町
③学びの場づくり(研修会等)	吹田市、茨木市、藤井寺市、東大阪市、四條畷市、能勢町、熊取町
④民生委員・児童委員と主任児童委員の連携・協働	泉佐野市、寝屋川市、高石市、忠岡町、河南町
⑤関係機関や地区(校区)福祉委員会等との連携強化の取り組み	岸和田市、豊中市、泉大津市、高槻市、貝塚市、守口市、枚方市、八尾市、和泉市、柏原市、羽曳野市、門真市、大阪狭山市、阪南市、豊能町 田尻町、岬町、千早赤阪村

●取り組みのポイント

①事例検討の実施	<ul style="list-style-type: none"> ●事例検討を通じて、自分たちの活動や役割をふりかえり、見える化する ●事例検討を通じて、課題の共有、経験の浅い委員のスキルアップをはかる ●支援に正解はないので、いろいろな意見、価値観、支援方法を学ぶ ●当事者、関係機関、自分自身の強みを支援にどう活かせるかを考える
②居場所づくり(への参加)	<ul style="list-style-type: none"> ●居心地がよいと感じる居場所を地域につくる ●当事者や地域住民がお客さんではなく主体的に活動できる仕組みづくり ●担い手は、地域の実情に応じてすすめる(住民中心、専門機関主導等)
③学びの場づくり(研修会等)	<ul style="list-style-type: none"> ●民生委員が地域課題や当事者を理解する ●民児協や地域で学ぶ機会をもつ ●関係機関等のできることや強みを学ぶ
④民生委員・児童委員と主任児童委員の連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> ●児童委員として関係機関等と連携して、家庭全体を支援する ●子どもにとっての「身近な大人」となり、地域の「子育て応援団」になる ●民児協として、委員同士が連携・協働できる環境をつくる
⑤関係機関や地区(校区)福祉委員会等との連携強化の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●複合多問題への対応には、さまざまな関係者・機関との連携が重要 ●民生委員は当事者と関係者とをつなぐ「結び目(=ハブ)」 ●支援者同士が情報共有、支援方針等を共有できる場をもつ ●関係機関と顔の見える関係づくりをすすめる

箕面市

民生委員児童委員協議会

人口	138,120人
世帯数	60,998世帯
定数	176人
地区数	12地区

人口・世帯数：平成31年4月1日時点
定数・地区数：令和元年12月1日時点合同地区委員会・
全員協議会での事例共有

活動のきっかけ・目的

より広範囲な事例を検討し、各委員の対応力を高めるとともに、委員同士の交流を促す。

活動の概要

年2回(2月・6月)、2地区が合同で事例検討を実施。その成果を「全員協議会」で発表すると共に、機関紙「民児協だより」に掲載し、全員が情報を共有する。

- ①事前に各地区で発表する事例を選出。2地区が協議して、合同地区委員会の開催場所・日時、全員協議会発表者、機関紙執筆者を決める。
- ②2地区合同で、事例検討(合同地区委員会)を開催。
- ③事例検討の成果を「全員協議会」で発表し、合同地区委員会の内容を「民児協だより」に掲載。

～「合同地区委員会」の流れ～

午前 合同地区委員会(事例検討)
昼食 各地区の交流を兼ねた昼食会
午後 各地区の委員会

取り組みの成果と課題

- 2期末満の委員が半数以上を占めており、地域住民の相談相手や見守り活動等に不安を抱えている委員が多数いる中、他地区の事例を聞くことで、日常の活動の参考となっている。
- 事例検討を行う中、民生委員・児童委員として対象者や他団体との関わりについて困難な事が多々ある事が見えてきた。特に、地区(校区)福祉委員会や青少年を守る会など充て職が多く、行事への協力など負担感が大きくなっている。

今後取り組んでいきたいこと

- 民生委員・児童委員の負担感が大きくなっていることから、連携について活動に影響があるものは整理を行い、担い手の確保を行う。
- 地域の居場所づくり(サロンやカフェなど)を行ない、地域の活性化に繋げていく。

ひとり暮らしの認知症 高齢者の支援事例

検討した事例の概要

70歳代女性のひとり暮らしの見守り事案

- 4～5年前、近所の方から民生委員・児童委員に見守り依頼の連絡があった。
- 信頼関係を築き孤立を防ぐために、知人2～3人、ヘルパー、ケアマネジャーと関わりながら、電話でのやり取り、自宅訪問、イベントへのお誘いなど、声かけをしている。
- 地域包括支援センターに相談し、病院の対応チームを交え、認知症の対応状況を報告。
- 遠方に住む息子さんが来られた際に状況を報告。場合によっては専門職の方を加え、本人、息子さんと話をする機会をもっている。

【事例①】

汚れた部屋の整理が
できていない家族への支援

【事例②】

息子のひきこもり
～ゴミ屋敷に悩む近隣住民～

検討した事例の概要

【事例①】

- 近隣住民から、母親と4人の子どもがいる5人世帯の異臭・害虫について、民生委員・児童委員に相談があった。
- 町、社協、民生委員・児童委員で支援についてケース会議を開催し、社協、自治会、民生委員でゴミ出しと見守りを実施。地域の行事にも参加を促し、信頼関係を築く。
- 母親と子どもには障がいがあり、関係機関も重複していることから、健康問題や就労問題の解決に向け、関係機関と協議を図っている。

【事例②】

- 80歳代母親はご近所つきあいもほとんどなく、40歳代息子は大学院卒業後就職したが、すぐに退職し、家に引きこもり状態にある2人世帯。
- 民児協と関係機関が協議。母親と面識がある会長が電話と訪問を繰り返すが連絡がとれない状況。
- 関係機関と連携、情報を共有し、粘り強く母親と会話ができるよう努め、今後も見守りを継続する。

池田市

民生委員児童委員協議会

人口	103,607人
世帯数	48,407世帯
定数	176人
地区数	11地区

人口・世帯数：平成31年4月1日時点
定数・地区数：令和元年12月1日時点



島本町

民生委員児童委員協議会

人口	31,167人
世帯数	13,323世帯
定数	59人
地区数	4地区

人口・世帯数：平成31年4月1日時点
定数・地区数：令和元年12月1日時点



交野市

民生委員児童委員協議会

人口	77,834人
世帯数	32,620世帯
定数	100人
地区数	4地区

人口・世帯数：平成31年4月1日時点
定数・地区数：令和元年12月1日時点



これまでに関わった事例の共有と認知症高齢者への対応についての話し合い

活動の概要

平成30年10月、12月の定例会にて事例検討を実施。

- 10月は委員がグループに分かれ、今までに関わった事例を発表した。
- 12月は10月の事例を元に、認知症の高齢者に関する対応の仕方について話し合った。
- 社会福祉協議会職員を講師に招き、専門機関へのつなぎ方や留意点を学んだ。
民生委員・児童委員としての経験を共有し、一つの事例を全体で検討することで、委員同士の連携の強化と知識の向上につながった。また、問題解決の過程で生じる細かな疑問点について、委員同士で話し合ったり、専門機関の職員の見解を聞くことで、少しずつ解消できた。

コラム①

「事例を通して支えあう — 仲間と学ぶ事例学習 —」

全民児連では、平成31年3月に標記テキストを発行しました。この冊子は、全民児連が民生委員制度創設100周年記念事業のひとつとして実施した全国モニター調査の結果から、「期の浅い委員を単位民児協や委員同士で支えることが必要」

「課題を抱える住民との関わり方の研修方法が必要」と考え、作成されたものです。

テキストには、「全国モニター調査から分かったこと」や「事前学習の内容と方法」、「事例学習に使用できる事例」、「ワークシート」などが掲載されています。

また、定例会等で使いやすいように、テキストの内容と対応したDVDが添付されているので、DVDを見ながら研修することができます。



テキストと動画は、**全民児連のホームページ**

(<https://www2.shakyo.or.jp/zenminjiren/>) に掲載されています。



事例を通して
支えあう

民生委員・児童委員が 参加する居場所について

河内長野市 民生委員児童委員協議会

人口	105,377人
世帯数	49,757世帯
定数	178人
地区数	11地区

人口・世帯数：平成31年4月1日時点
定数・地区数：令和元年12月1日時点



活動のきっかけ・目的

地域の見守り活動の中で、一人暮らしの高齢者が孤立していく実態を目の当たりにした。また、子育て世代の相談に応じるなかで、住民同士の交流の場が必要と感じた。心身ともに地域で安心して暮らし続けるために、地域住民のつながりづくりを目的に、楽しく食事を通じて集える居場所の立ち上げ・運営に携わった。

活動の概要

立ち上げから民生委員・児童委員が携わった事例の一部の紹介。

【活動①】地域の様々な団体へ声をかけ組織化とその運営に携わった。

月に1度、地域住民から提供された食材などを利用しカレーライスやデザートを調理し提供している。ひきこもりがちな方にも声をかけて参加を促し、幼児から高齢者まで、住民同士の交流の場をつくっている。

【活動②】福祉委員会活動に参画、食堂の立ち上げと参加者への呼びかけを担当。

見守り活動中に気になった男性の一人暮らし高齢者が出かけられる居場所として、季節を感じられるまた栄養のバランスのとれた手作り昼食を月一回提供。

【活動③】組織化のネットワークづくりに協力。

子どもから高齢者までが楽しめるカレーを食べる集いを毎月22日に開催。地域のスーパーや公団、まちづくり（スマートエイジングシティ事業）の一環として活動中。

取り組みの成果と課題

【活動①】世代間を超えた居場所となっている。住民同士の顔見知りが増えた。

【活動②】今まで知らなかった人たちと仲良くなることができた。美味しかったの一言や笑顔がやりがいになっている。課題は、参加したいけど会場まで歩いて来ることのできない人をどうするか。

【活動③】「毎月楽しみにしている」とうれしい声をいただいている。新しい人へ参加してもらえるようにすることが今後の課題。

今後取り組んでいきたいこと

- 誰でも気兼ねなく足を運べるような居場所になるように努力していく。
- 後継者の育成。
- 高齢者などの移動の課題（買い物や病院まで）

松原市

民生委員児童委員協議会

人口	119,864人
世帯数	56,312世帯
定数	178人
地区数	6地区

人口・世帯数：平成31年4月1日時点
定数・地区数：令和元年12月1日時点



～子どもの居場所づくり～ 子どもサロン会の開催



活動のきっかけ・目的

共働き世帯が多く、休日（特に土曜日）に子どもたちが一人で家に居ることを懸念し、子どもたちの居場所を提供。小学生と親密になり、困った時には相談相手になれるような信頼関係を作る。

活動の概要

【活動内容】

月1回、第2土曜日に子どもたちを集め、その季節に合った遊びやゲームを実施している。

- 高齢者の方を大切にすることを育てるため、子どもたちに敬老の日の前にお年寄りの方々へ絵手紙を書いてもらっている。
- おやつ作りでホットケーキやクレープなどを作り、共に食事をし、行儀作法や食育も行っている。

【民生委員・児童委員の役割】

- 季節に合わせて、次に何をするか考えて、ポスターを制作。学校や教育委員会、地域自治会、子ども会などに声かけをして、子どもたちを集める。
- 当日のおやつの下準備や遊びのスケジュールなどを作成。

取り組みの成果と課題

- 地元の小学生と委員が顔見知りとなり、登下校時にお互いに声をかけあえるようになった。
- 課題は、集まってもらえる人数に制限があるので、参加できる人数に限りがあること。

今後取り組んでいきたいこと

- スタッフには食育や伝統行事などに関する研修への参加を増やし、専門的知識や資格取得を図る。
- さまざまな取り組みの幅を広げられるようにしたい。
- 現在、子どもサロン会は1つの地区のみで開催しているが、今後、他の地区でも同様に立ち上げていきたい。

児童の居場所づくり

活動の概要

月に1回、土曜日に子どもの集い場を開催している。

- 民生委員・児童委員が主催のため、会場セッティングから受付、広報まで、すべてを行っている。
- 2小学校区を対象としているが、開催場所が片方の小学校区にあるため、参加児童に偏りがある。開催場所を増やすなどの検討をしていく。
- 小学校2年生までは保護者に送迎をお願いしている。送迎時に、保護者同士、または民生委員との交流の場を設けられないか検討していく。

摂津市

民生児童委員協議会

人口	86,103人
世帯数	40,853世帯
定数	145人
地区数	5地区

人口・世帯数：平成31年4月1日時点
定数・地区数：令和元年12月1日時点



居場所の再構築



活動の概要

保護者が安心して子育ておよび教育を行うための支援（家庭教育支援）を行う。

- 大東市教育委員会が実施主体となる、行政等の関係機関や専門家、地域人材等で構成された「家庭教育支援チーム」を教育委員会事務局に設置。民生委員・児童委員も家庭教育支援チームに参画し、社会的に孤立している人を支援する活動などに関わっている。
- 小学1年生全家庭訪問（ベルト型の訪問型家庭教育支援）の実施。
- 気軽につどうことができる「いくカフェ」を開催。
- サロンにもっと多くの人に参加してもらえよう、認知度を上げるのが今後の課題。

大東市

民生委員児童委員協議会

人口	120,537人
世帯数	56,519世帯
定数	180人
地区数	12地区

人口・世帯数：平成31年4月1日時点
定数・地区数：令和元年12月1日時点



富田林市

民生委員児童委員協議会

人口	111,628人
世帯数	51,099世帯
定数	192人
地区数	16地区

人口・世帯数：平成31年4月1日時点
定数・地区数：令和元年12月1日時点



おやこひろば



親と子どもが共に楽しく過ごすことができる場を提供。子どもたちの交流を通じて、同時に親同士も交流できる機会を提供し、子育て中の親・子どもが孤立しない地域づくりに貢献している。

活動の概要

- 「すばるキッズアートフェスティバル」に協力し、子育て支援事業「おやこひろば」を実施。
- 午前中は、親子ピラティスを開催。幼児と親が音楽やリズムに合わせて、子どもを抱き上げたり、手をつないで柔軟体操を行う。
- 午後は、コマ回し、ゴム鉄砲、お手玉、けん玉、缶ポックリなどの昔遊びを開催。折り紙の回転ゴマ、紙コップの糸電話、牛乳パックの紙ポックリなど、親子で作って遊んでもらう。
- 活動を通じて、民生委員・児童委員および主任児童委員や市が実施する子育て支援事業をPRする。

太子町

民生委員児童委員協議会

人口	13,304人
世帯数	5,472世帯
定数	31人
地区数	3地区

人口・世帯数：平成31年4月1日時点
定数・地区数：令和元年12月1日時点



居場所づくりへの参加



活動の概要

【活動①】

磯長台を中心に太子町全域の大人・子どもが参加できる「みんなの交流サロン きたじりさんち」。

- お互いを理解し気楽に助け合える近隣づくりや、自発的にできる活動を創造することが目的。
- ゆっくりコーヒーを飲みながら、ワイワイガヤガヤとおしゃべりする。
- 民生委員・児童委員2名が運営ボランティアとして参画している。

【活動②】概ね70歳以上の高齢者が参加する「ふれあいいきいきサロン」

- 小地域ネットワークづくりの中で、高齢者の日常生活が健康的に維持されることを目的とする。
- 保健師や栄養士による健康講座及び健康体操、音楽鑑賞、簡単なクイズやレクリエーション、食事会、お茶会などを実施。
- 民生委員・児童委員は、活動実施計画案の作成、会の運営と進行などに携わる。

孤立しない・させない 支えあいのまちづくり

泉南市 民生委員児童委員協議会

人口	61,984人
世帯数	26,207世帯
定数	120人
地区数	6地区

人口・世帯数：平成31年4月1日時点
定数・地区数：令和元年12月1日時点



活動の概要

希薄化する地域のつながりを再構築させ、挨拶だけで終わらない元気な地域を取り戻す。誰もがひとりぼっちにならない。そんな地域を地域のみなさんと一緒につくる取り組み。

- 誰もが気軽に集える居場所の設置。
- 世代間交流や文化体験の交流。
- 子ども食堂と学習支援。
- 民生委員・児童委員の役割について啓発し、身近な相談相手として地域の方々につながる。
- 取り組みを通して地域のつながりが広がり、世代を超えて顔がわかる関係になってきた。
- 元々の地域気質である挨拶だけでは終わらない関係が復活してきた。

コラム② 民生委員・児童委員活動のための情報誌

全民児連は、全国23万人の民生委員・児童委員に毎月「民生委員・児童委員のひろば」を配付しています。社会福祉の動向や課題など、民生委員・児童委員活動に役立つ情報が取りあげられています。

全民児連のホームページから「民生委員・児童委員／民児協事務局専用ページ(mj ASSIST)」に進み、パスワード(ひろば最終ページに掲載)を入力するとバックナンバーをご覧いただけます。

mj ASSIST>
1.機関紙、情報誌>
1.「民生委員・児童委員のひろば」



全民児連HP



大阪府民児協連では、年2回「Well おおさか」を発行し、大阪府内(大阪市・堺市を除く)の民生委員・児童委員に配付しています。時節にあったテーマや、大阪府内の市町村民児協の取り組みを紹介しています。

大阪府民児協連のホームページにバックナンバーを掲載しています。



府民児協連HP



吹田市

民生・児童委員協議会

人口	371,030人
世帯数	171,849世帯
定数	522人
地区数	22地区

人口・世帯数：平成31年4月1日時点
定数・地区数：令和元年12月1日時点



ブロック研修 「災害時の民生委員・児童委員の役割」

活動のきっかけ・目的

大阪北部地震や台風等の災害に直面して、災害時の民生委員・児童委員の役割につき、普段、接する機会のない他地区の委員と交流し、活動に関する問題点・悩みなどについて意見交換を行うこと。



活動の概要

市内を6ブロックに分け、「災害時の民生委員・児童委員の役割」をテーマに話し合う。大阪北部地震や台風後の対応、悩み、今後の活動課題について意見交換をする。

① 民生委員・児童委員の役割

- ・日頃の見守り活動が大切。
- ・常に地域と交流しておく。
- ・独居高齢者・見守りの必要な方に対しては、近隣の方とコミュニケーションをとっておく。
- ・民生委員・児童委員が常に意見交換をしながら活動内容・情報等を共有する。

② 民児協の役割

- ・災害時の情報伝達を再考
- ・災害時の対応マニュアルの作成が急務（災害時の対応、情報の伝達方法、支援体制の整備等）



取り組みの成果と課題

大阪北部地震、台風の被害後、お互いに実践したことを話し合ういい機会だった。災害時の対応を委員相互が共有しておく必要があり、マニュアル作成への動機づけとなった。

今後取り組んでいきたいこと

超高齢社会において、きめ細やかな支援をするには、民生委員・児童委員の増員を望むとともに、自らも研修することが大切。“無縁”の人が“縁続き”になるように取り組んでいきたい。

年間を通じた 研修テーマの設定

活動のきっかけ・目的

四條畷市民児協では、毎月1回の定例会で講演会を、年1回の専門部会で研修会を開催している。講演会・研修会のテーマを「認知症」に絞り、年間を通して地域の実情や課題を整理するとともに、関係機関や民生委員・児童委員同士が連携・協働できる環境づくりを目指す。

活動の概要

- 昨年12月の定例会で、認知症の方への関わりと支援について民生委員・児童委員が事例を発表し、その事例をもとに小学校区別に分かれてグループワークを行った。
- 今年4月の定例会では、四條畷市民児協相談役の種智院大学小寺鐵也教授による「認知症高齢者の人権について」の講演会を開催。
- 5月の定例会では、ケアハウスきんもくせい在宅部管理者の山口洋様、生活相談員の石井智行様による「介護者の心のケアについて」の講演会を開催。
- 6月の定例会では、四條畷市の出前講座を依頼し「認知症サポーター研修」を開催。
- 7月の一泊管外研修では、滋賀県の東近江市民児協と交流会を行い、「認知症の方との接し方や地域のなかでどのような人とつながり見守りをしていくのか」について意見交換を行った。
- 7月の生活福祉部会研修会では、京都認知症総合センターへの視察研修を行った。

取り組みの成果と課題

- 一つのテーマについて様々な視点から講演会・研修会を開催することで、課題解決に向け深く広い視野をもてるようになった。
- 研修を重ねることで、疑問や自分なりの考えを持つことができ、意欲・関心が高まると同時に、周りの民生委員・児童委員や他市との意見交換により、地域の課題や長所の再発見につながった。

今後取り組んでいきたいこと

- 地域の様々な関係団体・機関との講演会や研修会だけでなく、実際に施設の見学に赴くなど、顔の見える関係づくりを進めていきたい。
- 活動の意義ややりがいを発信し、民生委員・児童委員に興味・関心を持ってもらえる機会を作りたい。

四條畷市

民生委員児童委員協議会

人口	55,705人
世帯数	24,322世帯
定数	82人
地区数	1地区

人口・世帯数：平成31年4月1日時点
定数・地区数：令和元年12月1日時点



茨木市

民生委員児童委員協議会

人口	281,541人
世帯数	125,620世帯
定数	414人
地区数	23地区

人口・世帯数：平成31年4月1日時点
定数・地区数：令和元年12月1日時点



ひきこもり家庭の支援 についての研修実施

地区の「ひきこもり」の方に対し、「ひきこもり」をどう受け止め、支援に繋げていくかを学ぶ。

- 定例地区委員会で、茨木市子ども政策課の子ども若者支援グループの担当者が研修を実施。

活動の概要

- ひきこもりの理解を深めるため、ひきこもり状態の解説や、茨木市のひきこもり者数など、具体的な数値を交えた講義を行う。
- 茨木市の支援の取り組みとして、茨木市子ども・若者自立センター「くろす」やユースプラザ、子ども食堂が紹介された。
- 地域であいさつなどを推進し、ひきこもりに悩む家庭が適切な支援、居場所に繋がれるよう、誰かに気軽に相談できる関係を築いていくことが重要である。

能勢町

民生委員児童委員協議会

人口	10,044人
世帯数	4,550世帯
定数	52人
地区数	5地区

人口・世帯数：平成31年4月1日時点
定数・地区数：令和元年12月1日時点



これからの地域福祉の あり方、地域共生社会の 実現のためには どうあるべきか

地域共生社会における民生委員・児童委員の役割やこれからの地域福祉のあり方について理解を深める。

- 大阪市立大学野村恭代准教授を交えた「我が事・丸ごと」の地域づくり研修会に参加。

活動の概要

- 地域相互支援体制を構築することで、社会的に孤立してる方への個別支援と地域支援を一体的に推進し、地域共生社会の実現をめざす取り組みの先進地として、北海道津別町社会福祉協議会山田英孝事務局長の実践報告を受けた。
- 災害時ひとりも見逃さない運動「福祉マップ調査」により見えてきた、要支援者への平時からの見守り強化の必要性などの地域課題を踏まえ、民生委員・児童委員や地域福祉に関心のある方（専門職を含む）を対象にグループ討議を実施。地域福祉のあり方、地域共生社会の実現のためにどうあるべきかについて検討を行った。

民生委員・児童委員の 識見の向上及び 関係機関との連携強化 による環境整備

活動の概要

民生委員・児童委員は「自分で自分を助けられない人」を発見し、見守り、適切な時期に必要な手立てに繋げる役割を持つことから、“地域福祉推進の要”として大きな期待が寄せられている。こうした大きな期待に適切に応えていくために、関係機関との連携強化及び情報の共有を図る。

【平成30年度活動実績】講師：①④東大阪市、②施設、③府社協、⑤医師会、⑥市社協

- ①東地区民協：「生活困窮者自立支援制度」「子どもの居場所づくり支援」
- ②中第1地区民協：「全国手話研究所における手話体験」
- ③中第2地区民協：「大阪しあわせネットワークとは」
- ④西第1地区民協：「子どもの居場所づくり」「児童虐待について」
- ⑤西第2地区民協：「これからの高齢化社会の在り方」「認定こども園について」
- ⑥西第3地区民協：「地域共生社会の実現について」

民生委員による 民生委員のための 民生委員研修

活動の概要

民生委員活動に対する役割や期待が増々高まる一方で、担い手不足、不十分な引継ぎ、活動の立ち位置が分からないなど不安を抱える民生委員・児童委員が多い。活動の課題を民児協全体で共有し考える。

【平成29年度】新任委員が先輩委員から学び、実践につながる研修会を目的に開催。

【平成30年度】地元の施設職員（藤井寺市社会福祉施設連絡会）を招き、情報共有を図る。

グループワーク①：民生委員活動を振り返り、戸惑いや、やりがい、失敗談、成功談を共有。

グループワーク②：市内の必要な資源「あったらいいなあ」を一緒に考える。

東大阪市

民生委員児童委員協議会連合会

人口	495,180人
世帯数	228,862世帯
定数	826人
地区数	49地区

人口・世帯数：平成31年4月1日時点
定数・地区数：令和元年12月1日時点



藤井寺市

民生委員児童委員協議会

人口	64,739人
世帯数	29,158世帯
定数	87人
地区数	7地区

人口・世帯数：平成31年4月1日時点
定数・地区数：令和元年12月1日時点



熊取町

民生委員児童委員協議会

人口	43,685人
世帯数	18,001世帯
定数	70人
地区数	5地区

人口・世帯数：平成31年4月1日時点
定数・地区数：令和元年12月1日時点



講演

「社会的に孤立している
人々への支援に向けて」
～民生委員・児童委員活動
に期待されるもの～

活動の概要

- 「社会的に孤立している人々への支援に向けて」をテーマに、桃山学院大学石田易司名誉教授を講師に迎えて研修会を開催。
貧困からくる子どもの孤立、コミュニケーション不足が原因とされる若者の孤立や高齢者の孤立などについて、ディスカッションを交えた講義を受け、民生委員・児童委員活動を行うにあたっての助言をいただいた。
- 社会の変化に対応するため、これからの民生委員・児童委員活動のニーズに沿った研修を定期的に実施し、委員活動につなげたい。

コラム③

「民生委員制度創設100周年活動強化方策～人びとの笑顔、安全、安心のために～」と
「全国児童委員活動強化推進方策2017～子どもたちの笑顔と未来のために～」

全民児連は、民生委員制度創設100周年にあたり、平成29年7月に「民生委員制度創設100周年活動強化方策」を策定するとともに、「全国児童委員活動強化推進方策2017」を平成29年12月に策定しました。これら2つの方策をふまえて、「地域版」の活動強化方策を策定することが呼びかけられています。そして、各地域で「地域版 活動強化方策」の作成をすすめるために、「推進の手引き」が作成されました。



これらの冊子は、全民児連HPの「民生委員・児童委員／民児協事務局専用ページ(mj ASSIST)」でご覧いただけます。

mj ASSIST>
2. 活動強化方策および委員活動に関する指針、方針等



全民児連HP

民生委員・児童委員と 主任児童委員の連携・ 協働を強化する

泉佐野市 民生委員児童委員協議会

人口	100,596人
世帯数	47,000世帯
定数	165人
地区数	17地区

人口・世帯数：平成31年4月1日時点
定数・地区数：令和元年12月1日時点



活動のきっかけ・目的

- 【活動①】1995年頃から懇談会を実施。2005年に主任児童委員が全小学校区に配置されたのを機に、主任児童委員が懇談会の企画・運営に携わる。
- 【活動②】子育て部会を中心とする数十年の歴史を持つ人形劇団に、主任児童委員も参加協力。
- 【活動③】少子化のため、現在の子どもたちは赤ちゃんに関わる機会が少ない。中学校や子育てサロンの協力を得て、中学生に妊娠・出産の疑似体験を通し、赤ちゃんとのふれあいを経験してもらう。



活動の概要

- 【活動①】懇談会を全小中学校で実施。児童福祉部会と主任児童委員が中心となり、校長・教頭・生徒指導・養護教諭、教育委員会の指導主事を交えて懇談。懇談結果は全民生委員・児童委員で共通理解に努める。
- 【活動②】年間を通して、企画・作成・練習を重ね、泉の森ホールでの開催を迎える。
- 【活動③】中学生が、助産師（主任児童委員）・保健師から、妊娠から出産までの母体と心の変化を学び、妊婦体験をした後、赤ちゃんとのふれあい、お母さんから育児の喜びや苦勞を聞き、交流を図る。



取り組みの成果と課題

- 十数年前は「主任児童委員って何？」と批判めいた声があった。そこで、主任自身が、他の民生委員・児童委員と共に活動すれば、互いの立場を理解し合えると判断。子どもの育成を支援する「児童福祉部会」「子育て部会」のいずれかに所属し、地域担当の委員と一緒に汗をかくことで理解を得てきた。
- 一般市民には、民生委員・児童委員や主任児童委員の存在や活動は、まだまだ認知されていない。

今後取り組んでいきたいこと

認知度向上のため、今後一層、各委員の市内各校区・地域において地道な実践活動が求められる。

寝屋川市

民生委員児童委員協議会

人口	232,896人
世帯数	109,754世帯
定数	355人
地区数	22地区

人口・世帯数：平成31年4月1日時点
定数・地区数：令和元年12月1日時点



子育て♡ 応援プロジェクト ～赤ちゃんは泣くものだよ～



活動の概要

電車の中やレストランなどで子どもが泣いたとき「周囲の目が気になった」という若いママさんの声を耳にして、安心して子育てできるまちづくりを目指し、プロジェクトを立ち上げる。

- 事業の目的や取り組みを理解・協力してもらうため、冊子を作成し、各施設へ配布。
- 大阪電気通信大学の学生にロゴ制作を依頼。市内109カ所の施設等に投票してもらい、1点選出。
- ロゴを入れたポスター（大・中・小）、ステッカー2種（円形、角形）を作成し、投票に協力してくれた施設に配布し、啓発を依頼する。
- ママさんたちの「嬉しいです。安心です。」との声を耳にし、少しずつ評価されていると感じる。

河南町

民生委員児童委員協議会

人口	15,576人
世帯数	6,569世帯
定数	48人
地区数	5地区

人口・世帯数：平成31年4月1日時点
定数・地区数：令和元年12月1日時点



子どもゆめづくり フェスティバル

活動の概要

民生委員・児童委員をPRすると共に、河南町の子どもたちが心豊かな人に成長することを願い開催。

- 民生委員・児童委員と主任児童委員が一致団結し、すべて自分たちで運営。
- 各地区の委員全員で、金魚すくい、わなげ、ボールを転がすゲーム、勾玉づくりとアートバルーン、小麦粉ねんど遊びなどを準備。メインの催しには、近年はミニSLをお願いしている。
- 今年度で10回目の開催であるが、第5回目よりを町立中学校に依頼し、「中学生ボランティア」にスタッフとして参加してもらっている。
- 参加費を無料にし、町内外の子どもたちとその家族が参加しやすい催しを心がけている。

民生委員・児童委員、主任児童委員が中心となった子育て応援イベント

高石市 民生委員児童委員協議会

人口	57,747人
世帯数	25,628世帯
定数	95人
地区数	9地区

人口・世帯数：平成31年4月1日時点
定数・地区数：令和元年12月1日時点



活動の概要

幅広い年齢の子ども達の交流の場を創出。住民と民生委員・児童委員の顔が見える関係を築く。

- 就学前の子どもと保護者を対象とした子育て応援イベント「子育てトーク おおきな〜れ」を民児協と子育て支援センターの共催で、年に2回、企画・運営。
- おもちゃ遊び・絵本コーナー・赤ちゃんコーナーなど、親子のふれあいができる場を設ける。
- 民生委員・児童委員と主任児童委員による紙芝居や手遊び、ハンドベル演奏などの催しを行い、保護者から好評を得ている。
- 民生委員・児童委員、主任児童委員、保健師を、担当の小学校区ごとに分けて保護者の方々へ紹介。自分が住む地域の担当者が分かり、より身近に感じる事ができたとの声が聞かれた。

ふれあいコンサート



忠岡町 民生委員児童委員協議会

人口	17,144人
世帯数	7,717世帯
定数	29人
地区数	1地区

人口・世帯数：平成31年4月1日時点
定数・地区数：令和元年12月1日時点



活動の概要

親子の触れ合い・子ども同士の関わり・保護者間の交流を深める。

- 「ふれあいコンサート」を開催し、紙芝居・楽器演奏等を実施。
- 長く続く「ふれあいコンサート」を多くの住民に知ってもらい、参加してもらうことで地域と民生委員・児童委員の距離がより近くなる。今後も地道に活動を続け、広く周知できるよう取り組んでいきたい。

豊能町

民生委員児童委員協議会

人口	19,630人
世帯数	8,663世帯
定数	51人
地区数	6地区

人口・世帯数：平成31年4月1日時点
定数・地区数：令和元年12月1日時点



緊急時安否確認 (かぎ預かり) 事業への 協働参画



活動のきっかけ・目的

高齢化が進む豊能町では、ひとり暮らしの高齢者も年々増加している。この事業の目的は、ひとり暮らし高齢者の安否確認や孤独死の防止、緊急時の家屋の破壊侵入を回避すること。また、地区（校区）福祉委員や民生委員が個人的に鍵を預かっているケースもあり、「かぎ預かり事業」の仕組みを作ること、委員の負担軽減にもつなげる。

活動の概要

豊能町民生委員児童委員協議会はひとり暮らし高齢者の不安を解消するため、豊能町社会福祉協議会が寝屋川市社会福祉協議会にならって取り組み始めた「かぎ預かり事業」に協働して参画することとした。

原則、ひとり暮らしの高齢者が対象で「お隣の様子がおかしい。何日も洗濯物が干しっ放しになっているが、鍵がかかっているので入れない」などの異変が発生した際、発見の遅れによる不幸な事故を未然に防ぐために、事前に鍵を預かり安否を確認する仕組み。

- ① 申込者の同意を得て利用者登録（社会福祉協議会が利用申込受付）
- ② 協力法人（施設）に鍵を預ける（24時間対応）
- ③ 異変を発見→ 1. 関係者へ連絡（福祉委員、民生委員・児童委員等） 2. 緊急時連絡先・警察署に異変を連絡 3. 協力法人（施設）に連絡 4. 委員等協力者が鍵を取りに行く 5. 複数で開錠、警察官入室・安否確認

取り組みの成果と課題

- 通常の訪問では得られない情報（利用者の家族構成など）が得られた。
- 今後は、仕組みの信頼性や大切さをわかってもらうことが課題である。
- 思わぬ成果として、外出先で鍵を紛失した利用者が、預けた鍵で入ることができた事案が1件あった。

今後取り組んでいきたいこと

- ひとり暮らし高齢者に対する地域情報の提供
- いずれ訪れるであろう買い物困難者等の支援
- 地域包括ケアシステムの推進



もりぐち救急安心 カプセル事業における 見守り活動の拡充

守口市

民生委員児童委員協議会

人口	143,459人
世帯数	71,897世帯
定数	256人
地区数	19地区

人口・世帯数：平成31年4月1日時点
定数・地区数：令和元年12月1日時点



活動のきっかけ・目的

平成24年度から活動開始。対象者の安全と安心を確保するため、主治医、持病、緊急連絡先等の情報を保管するカプセルを配付する活動。

活動の概要

70歳以上の一人暮らし高齢者、障がい者等を対象に、「救急安心カプセル」を配付。

- カプセル配付対象者の発見と対象者に対する日常の声かけ・見守り活動を行う。
- 平成30年度から守口市が実施する「高齢者防災見守り安心事業」（防災グッズの配付、状況把握、見守り等）と連動して、日常の声かけ・見守り活動の拡充を図った。
- 平成30年度末時点のカプセル配付者数は3,656人で、平成29年度より276人増加した。



取り組みの成果と課題

- 地区（校区）福祉委員と日頃から連携しているため、本事業においてもスムーズに連携することができた。
- 市と連携することにより、今まで把握できていなかった一人暮らし高齢者を把握することができた。
- 本事業の対象者は70歳以上の一人暮らし高齢者であるが、市から提供してもらえる情報は75歳以上の一人暮らし高齢者であるため、把握できていない対象者がいる。

今後取り組んでいきたいこと

- もりぐち救急安心カプセル利用者情報を精査する。
- 関係機関との更なる連携強化を図りたい。
- みんなが孤立することなく、安心して笑顔で暮らせる地域をつくっていきたい。

泉大津市

民生委員児童委員協議会

人口	74,659人
世帯数	34,284世帯
定数	119人
地区数	9地区

人口・世帯数：平成31年4月1日時点
定数・地区数：令和元年12月1日時点



小地域ネットワーク 活動地区推進会 (地区社協) 組織化

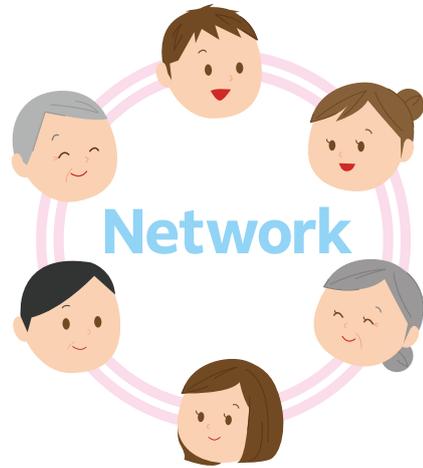
活動のきっかけ・目的

市社協が進める4団体（民生委員・児童委員、地区福祉委員会、自治会、老人クラブ）等の小地域ネットワーク活動地区推進会（地区社協）の設置。

活動の概要

地域の各種団体との連携を強化・組織化していくことで、要援護者を地域全体で見守り、住民主体の地域福祉を実現する。

- 民生委員・児童委員、地区福祉委員会、自治会、老人クラブ等の地域の団体が組織化に向けて定期的に会合を重ねる。
- 全校区の組織化を目指す。中間報告では、小地域ネットワーク活動地区推進会（以降：推進会）として組織化されているのは9校区中2校区だったが、現在4校区に増えた。



取り組みの成果と課題

- 各種団体との連携強化・推進会の必要性を感じている住民は多いが、各地区の温度差も大きいので、今後も各校区で組織化に向けて話し合いの場を作っていきたい。
- すでに推進会として組織化されているところも、組織を上手く機能させるための進め方が重要。
- 他団体との関わりを持つことで活動の幅が広がることが考えられるので、今後の民生委員・児童委員の活動に期待が持てる。
- 情報共有の中で一人暮らしの方が増加している。家族がいても遠方に住んでいるなど、不安を口にする人も多い。
- 家族がいないため、緊急通報装置の第一通報者に民生委員・児童委員が頼まれることも多い。

今後取り組んでいきたいこと

小さな子どもから高齢者、現役世代など、全ての年代で横のつながりを持ち、挨拶を励行できる地域づくりを推進していきたい。

全国校区・小地域福祉活動 サミット in 豊中

「一人も取りこぼさない…
担い手づくり」

～住みよいまちの身近なつなぎ役～

豊中市 民生・児童委員協議会連合会

人口	406,260人
世帯数	190,999世帯
定数	600人
地区数	38地区

人口・世帯数：平成31年4月1日時点
定数・地区数：令和元年12月1日時点



活動の概要

全国校区サミットにおいて、各機関と協働することで連携を強化し、研修として参加する。

- 阪南市の中学生による「子ども福祉委員」について。生徒が地域に出向いてニーズを調査し、お困りごとを手助け（草抜きや掃除）した事例報告。
- 豊中市高川地区より、孤独死の問題について地区の民生委員・児童委員が主体となって地域包括支援センターの職員、豊中市社協のCSWと連携し、1軒1軒まわる「ローラー作戦」について報告。
- 民生委員・児童委員が土日祝関係なく地域を回ったことで、顔を覚えてもらえたという報告。
- 南桜塚地区より、市社協による「くらしささえあい事業」の「福祉便利屋事業」について報告。地域の活性化と同時に、高齢者同士が支え合うことで、元気な高齢者が増えることに繋がっている。

【活動①】 令和元年度合同研修会
「地域共生社会の実現に向けて」

【活動②】 民生委員・児童委員と
地域包括支援センターとの意見交換会

高槻市 民生委員児童委員協議会

人口	351,741人
世帯数	160,191世帯
定数	549人
地区数	41地区

人口・世帯数：平成31年4月1日時点
定数・地区数：令和元年12月1日時点



活動の概要

【活動①】「地域共生社会の実現に向けて」をテーマに民生委員児童委員協議会地区委員長・地区福祉委員会委員長合同研修会を開催。

第1部：基調講演「地域共生社会の実現に向けて地域住民と専門職の協働について」

第2部：実践報告「民生委員児童委員協議会と地区福祉委員会の協力による地域活動事例」

第3部：民生委員、地区福祉委員の強みや取り組みについて、グループに分かれて意見交換

【活動②】 取り組みや今後の方針を報告。各関係機関で協働し、効果的・機能的な活動への意見交換会を行う。

- 事例検討：法律的課題のある事例への対応について
- グループワーク：法律的支援を必要とする高齢者について

枚方市

民生委員児童委員協議会

人口	401,314人
世帯数	180,107世帯
定数	545人
地区数	45地区

人口・世帯数：平成31年4月1日時点
定数・地区数：令和元年12月1日時点



普段の活動から見えてくる 連携のあり方

活動の概要

活動の中で連携している各団体の機能を再確認し、各委員で共有することでスキルアップを目指す。

- 各委員の関わっている事例を集めるとともに各地区で共有・検討する。
- 事例を民生委員児童委員協議会として把握し、傾向を調査し、連携について検討を行う。
- 事例の共有によって各委員のスキルアップにつながり、各団体の機能を具体的に知る事ができた。
- 今まで地区委員長と相談する事で課題解決していたケースでも、他委員と共有する重要性が発見された。

門真市

民生委員児童委員協議会

人口	122,299人
世帯数	62,389世帯
定数	186人
地区数	15地区

人口・世帯数：平成31年4月1日時点
定数・地区数：令和元年12月1日時点



小地域ネットワーク 活動への民生委員・ 児童委員としての 関わり方

活動の概要

高齢者が自立した生活を安心して行えるようなきっかけづくりを目的に様々な活動を実施。

- 主な活動内容：「ちらし寿司づくり」「お土産づくり」「ビンゴゲーム」「箸袋づくり」など。
- 小地域ネットワーク活動を通じて、地区（校区）福祉委員の協力を得ながら、地域の高齢者を把握する。
- 高齢者に地域の担当民生委員・児童委員を知ってもらう。
- 高齢者が孤立することがないように見守り活動を行う。



自治会・小中学校との 連携強化のための 顔の見える関係づくり

活動の概要

- 【活動①】地域における独居高齢者の把握と見守り活動の連携に向けて、民児協の地区委員長・委員と自治振興委員会の地区委員長・委員とのつながりをこれまで以上に強化。
- 平成 29 年夏に両団体の役員が懇談。
 - 平成 30 年 10 月に両団体の幹事（合計約 60 名）が顔を合わせた。
- 【活動②】民児協の地区委員長・主任児童委員と小中学校関係者と顔の見える関係づくり。
- 平成 30 年 7 月に市教育長と民児協役員らが懇談。
 - 平成 30 年 12 月と令和元年 6 月に各小中学校を訪問。民児協機関紙を学校長に渡し、懇談。

民生委員・児童委員と 関係機関の連携による 要援護者への見守り活動

活動の概要

- 【活動①】地域あんしん事業への参加
- 日常的な見守り訪問等：ひとり暮らし高齢者台帳登録の申請支援を実施。友愛訪問を行う地区福祉委員より、対象者の変化など支援内容の変更が必要な場合は、情報の連携を図り支援者につなぐ。
 - エリア会議への参加：市内 3 地区ごとに、市高齢介護課、地域包括支援センター、ランチと民生委員・児童委員で、毎月 1 回、個別事例の支援の方向性や内容を共有する。
 - 情報交換会への参加：柏原市地域あんしん事業主催による見守り専門員を中心とした情報交換会を月別で開催。多くの民生委員・児童委員が参加し、地区の現状について意見交換を行う。
- 【活動②】地区福祉委員会への参加
- 子ども・障害者との交流：地区福祉委員を兼務し、子育てサロンや登下校の見守り等に協力。
- 【活動③】調査研究事業の課題分析・検討内容の集約

八尾市

民生委員児童委員協議会

人口	266,593 人
世帯数	124,514 世帯
定数	412 人
地区数	16 地区

人口・世帯数：平成 31 年 4 月 1 日時点
定数・地区数：令和元年 12 月 1 日時点



柏原市

民生・児童委員協議会

人口	69,086 人
世帯数	31,203 世帯
定数	142 人
地区数	9 地区

人口・世帯数：平成 31 年 4 月 1 日時点
定数・地区数：令和元年 12 月 1 日時点



柏原市の高齢福祉行政「地域あんしん事業」に積極的に協力。サロン活動や子ども安全見守りにも参加し、地域住民と「顔の見える関係づくり」を実践している。

羽曳野市

民生委員児童委員協議会

人口	111,631人
世帯数	50,071世帯
定数	188人
地区数	14地区

人口・世帯数：平成31年4月1日時点
定数・地区数：令和元年12月1日時点



ふれあいネットの 輪を広げよう。 地域と専門職の よりよい協働を目指して

活動の概要

小地域ネットワーク活動と行政や地域の専門機関が連携し、地域内の支援を必要とするすべての人を対象に地域での生活の支援体制の拡充を図る。

●「ふれあいネット雅び」の活動内容

高齢者の実態把握と見守り活動、認知症サポーター養成や外出中に道に迷った認知症高齢者への声掛け訓練、校区ごとの住民を対象とした勉強会、地域内の社会資源開発、災害時要支援者への支援、地域の子どもの見回り等。

- 「ふれあいネット雅び」は、地区（校区）福祉委員会を中心とした地域住民と行政機関、在宅介護支援センターや医療機関等の当該地域にある専門機関との協働の仕組み。普段から相談者と各種機関をつなぐ民生委員・児童委員が、地域住民と専門職の橋渡し役として重要な役割を担う。

大阪狭山市

民生委員児童委員協議会

人口	58,516人
世帯数	25,533世帯
定数	96人
地区数	9地区

人口・世帯数：平成31年4月1日時点
定数・地区数：令和元年12月1日時点



子育て中の 親子への支援

「親子でぼかぼかクリスマス!」と題し、児童委員活動の一環として、子育て中の親子が気軽に集い、相談や交流ができる「場」を提供。同年代の親子や民生委員・児童委員等との関係づくり、育児不安の解消、安心して子どもを生み、育てられる環境づくりの支援の充実を図る。

活動の概要

- 子育て支援・世代間交流センター“UP っぷ”にて、2日間、参加者が楽しめるプログラムを実施。
- おもちゃで自由に親子で楽しむクラフトコーナー、絵本の広場、ピアノに合わせて歌うお楽しみタイム、子ども服の交換会など。
- 来場した子どもの見守りを行い、保護者同士が交流できるように促す。
- 保護者の子育てに関する相談を聴く。また、地域の身近な相談相手として、日頃から頼ってもらえるように民生委員・児童委員や主任児童委員の役割をPRする。
- 子育てサポーターと連携し、子育て支援の現状について学び、日頃の委員活動に活かす。

地域サロンへの参加を通じて関係機関との連携強化・顔の見える関係づくり

千早赤阪村

民生委員児童委員協議会

5,215	人口	5,215人
2,290	世帯数	2,290世帯
27	定数	27人
1	地区数	1地区

人口・世帯数：平成31年4月1日時点
定数・地区数：令和元年12月1日時点



活動の概要

民生委員・児童委員は地区（校区）福祉委員を兼ねており、地区の集いの場を作ってきた。そんな中、地域住民と民生委員・児童委員、CSW、保健師、駐在所職員などが情報交換や情報提供できる場所を提供している。

- 地域サロンへ参加し、民生委員・児童委員からの情報提供として時間を設ける。
- CSW や保健師に、地域情報の伝達や相談できるような時間を作る。
- 地域の現状や要支援者等の様子について拾い上げ、適正な機関へ情報提供等を行う。
- 地域サロンへの参加の呼びかけや、福祉委員としてサロン運営及び企画等行う。

避難行動要支援者支援プランの作成

田尻町

民生委員児童委員協議会

	人口	8,598人
	世帯数	4,012世帯
	定数	23人
	地区数	1地区

人口・世帯数：平成31年4月1日時点
定数・地区数：令和元年12月1日時点



活動の概要

災害に備え、要支援者の避難支援体制を確立する。

- 小さい町なので、住民と顔の見える関係を築き、地区全体を詳細に把握することが容易に可能。
- 同意を得られた要支援者に対し、民生委員・児童委員と地区福祉委員と一緒に訪問。連携して避難行動要支援者個別プランを作成し、情報を共有する。
- 支援を必要とする要支援者に対し、普段からの見守り、災害情報の伝達、安否の確認を行う。



岸和田市

民生委員児童委員協議会

人口	194,952人
世帯数	87,884世帯
定数	306人
地区数	24地区

人口・世帯数：平成31年4月1日時点
定数・地区数：令和元年12月1日時点



児童ボランティア活動 支援事業



活動の概要

児童の健全育成を行う団体・組織と連携し、小学生や中学生のボランティア参加を促進。地域福祉活動を通じて、人と人のつながりの大切さを学ぶと共に、他人を思いやる心豊かな人間性を育み、将来の地域福祉の担い手としての経験と育成につなげる。

- 民生委員・児童委員が行うサロン等の地域活動に、各地区の子ども会の児童たちにボランティアとして参加してもらう。
- 小中学生が書いた年賀カードを民生委員・児童委員がひとり暮らし高齢者等に配布する時、地域の児童たちに手伝ってもらう。
- 公園などの地域清掃に子ども会の児童たちが参加し、民生委員・児童委員も手伝う。
- 市内24地区中、15地区26件の活動があり、1,100人の子どもたちがボランティア活動に参加した。

和泉市

民生委員児童委員協議会

人口	185,890人
世帯数	78,823世帯
定数	295人
地区数	21地区

人口・世帯数：平成31年4月1日時点
定数・地区数：令和元年12月1日時点



みまもり事業

民生委員（方面委員）制度創設100周年を機にこれまでの活動を見直し、住民がより安心して住み続けることができる地域生活を求め、この先100年継続できる事業として地域のみまもり活動を行う。

活動の概要

- 民生委員・児童委員が、みまもりが必要とみなした人を対象とする。
- 対象者本人の既往歴や緊急連絡先などを記入した緊急連絡シートをマグネットシートと冷蔵庫の間に挟み、緊急時に役立つ「みまもりキット（マグネットシート）」を配付。
- 対象者の様子の聞き取りや緊急連絡シートの内容の変更確認のために、1年に1度以上訪問し、継続したみまもり活動を行う。

地域共生社会の 実現に向けて



活動の概要

地域共生社会を実現するため、具体的な取り組みを行う。

- 地域の絆を強める活動として、挨拶・一声運動を実施。地域の方に顔を知ってもらい、様々な活動の場で今まで知らなかった人とも交流し、地域の情報を得る。
- 地域の中の支援を必要とする人を発見し、支援につなげるため、拡大地域ケア会議等の取り組みに協力し、関係機関・団体との連携を強化する。
- 拡大地域ケア会議の実施は、現在 42 地区（町会・自治会）まで増加。訪問や支援を好まない住民に対して、拡大地域ケア会議で情報共有し、見守りを行う。

誰も一人ぼっちにしない、 誰も排除しないまち

活動の概要

主任児童委員は、子ども達が日常生活を安全に過ごせるように、登下校、地域での行事、散歩、買い物等、様々な場面で出会う子ども達を見守っている。

- 市内各小学校、中学校を訪問し、校長・教頭・生徒指導担当の先生方と意見交換。地域の子どもの見守りについて理解を深め、地域の現状を把握し、子どもの見守り活動を行う。
- 夏休み前の学校訪問では、子ども達が、地域で過ごす夏休みを安全で楽しいものにするために、学校と地域の情報交換を行う。
- 民生委員・児童委員は主任児童委員と連携し、民児協は関係各所との連絡や調整役を担っている。

貝塚市

民生委員・児童委員協議会

人口	86,613 人
世帯数	37,639 世帯
定数	150 人
地区数	10 地区

人口・世帯数：平成 31 年 4 月 1 日時点
定数・地区数：令和元年 12 月 1 日時点



阪南市

民生委員児童委員協議会

人口	54,244 人
世帯数	24,149 世帯
定数	95 人
地区数	4 地区

人口・世帯数：平成 31 年 4 月 1 日時点
定数・地区数：令和元年 12 月 1 日時点



岬町

民生委員児童委員協議会

人口	15,519人
世帯数	7,433世帯
定数	65人
地区数	4地区

人口・世帯数：平成31年4月1日時点
定数・地区数：令和元年12月1日時点

各種関係機関との
連携と協働体制の強化

活動の概要

各種関係機関と懇談会や意見交換会を実施し、連携を深めていく中で、お互いの活動の内容や役割を再認識し、民生委員・児童委員と協働して地域福祉の増進体制を強化する。

- 地域における民生委員・児童委員活動の認知の向上を図る。
- 民生委員・児童委員を中心とした各種関係機関のとの連携を強化。
- 地域における要援護者等の状況を把握し、見守り活動の向上につなげる。

コラム④ 「地区（校区）福祉委員会とは？」

地区（校区）福祉委員会は、社会福祉協議会を構成する基本的な組織であり、住民1人ひとりが福祉活動に参加して、地域の中の助け合いを育てていくための組織です。日常生活圏域である小学校区を基本として設置されています。

大阪府内の活動者数は約5万6千人で、府民のおよそ100人に1人の割合です。地域のさまざまな団体（自治会、高齢クラブなど）やボランティアなどから構成されています。

地区福祉委員会の全国的な組織率が約50%であるのに対し、大阪府はほぼ100%の地域に設置されています。

地区（校区）福祉委員会は、昭和30年代から40年代にかけて各地で結成され、地域の住民の立場に立ったさまざまな活動を展開してきました。昭和50年代頃までは、住民の不安の種であった公衆衛生や安全対策が中心でしたが、現在では、見守りやサロン活動、子ども食堂の運営など、社会の変容とともに活動内容も変化してきています。

安心して暮らせる地域をつかっていきたいという思いは、民生委員・児童委員も地区福祉委員も同じだね！



調査研究委員会・事例集編集委員会 委員名簿

調査研究委員会 委員名簿

(設置期間:平成29年4月～平成30年3月)

地域福祉部会		
各部会の役職	氏名	市町村
部会長	小川 勝	守 口 市
副部会長	宮野 生代	豊 能 町
副部会長	河村 浩	大 東 市
部会員	中村 章子	豊中市第2
部会員	平井 薫	豊中市第3
部会員	横井 正子	島 本 町
部会員	谷口 和宏	柏 原 市
部会員	今西 英人	藤 井 寺 市
部会員	宇田 靖彦	東大阪市中第2
部会員	高寺 壽	泉 大 津 市
部会員	明松 俊昭	泉 佐 野 市
部会員	土生 貞雄	阪 南 市
部会員	勝元 芳夫	忠 岡 町
担当副会長	義之 清規	東大阪市西第3

児童福祉部会		
各部会の役職	氏名	市町村
部会長	畑 富男	茨 木 市
副部会長	一井 正好	和 泉 市
部会員	和佐 義顯	池 田 市
部会員	辻岡喜久雄	寝 屋 川 市
部会員	夏目 幸子	大 阪 狭 山 市
部会員	木下 令	東 大 阪 市 東
部会員	西尾 俱定	東大阪西第2
部会員	吉岡 賀子	河 南 町
副部会長	藤井 成俊	泉 大 津 市
部会員	桑原 峯子	箕 面 市
部会員	三見 雅恵	門 真 市
部会員	山本 淑子	河 内 長 野 市
担当副会長	藤原 雅晴	貝 塚 市

事例集編集委員会

(設置期間:令和元年10月1日～11月30日)

地域福祉部会		
各部会の役職	氏名	市町村
委員長	小川 勝	守 口 市
副委員長	畑 富男	茨 木 市
委員	宮野 生代	豊 能 町
委員	河村 浩	大 東 市
委員	一井 正好	和 泉 市
委員	藤井 成俊	泉 大 津 市
担当副会長	義之 清規	東大阪市西第3
担当副会長	藤原 雅晴	貝 塚 市

大阪府民生委員(方面委員)制度創設 100周年スローガン
人々に よりそい100年 これからも



大阪府民児協連 活動強化方策に基づく実践事例集

令和2年3月

大阪府民生委員児童委員協議会連合会

〒542-0065 大阪市中央区中寺1-1-54

TEL:06-6762-9486 FAX:06-6762-9487

<http://www.osakafusyakyo.or.jp/minkyoo/>

【禁無断転載】